



著周西
致知啟蒙

洋学文庫
文庫8
C 258
1



西 周 著

明治七年
九月發兌

致知啟蒙

甘霖舍藏梓

致知啟蒙自序

余嘗遊於歐羅巴頗悉其事情所觀凡百事物
目之以二字曰浩大若都邑府城若道路橋梁
若宮殿樓閣若廨署庠校祠宇教堂若幼孤啞
盲癩狂疾病諸院若分拆鑄鍛金銀硝磁諸工
廠若考古博物禽獸草木諸館園若銃砲船艦
海陸諸軍兵具戰器若瀛車電線驛遞銀行互
市諸場凡以觸目入耳者皆莫不愕然驚歎為

甘霖氏曰藏書

致知啟蒙

自序

甘霖舍

及退而考諸書史徵諸學術惘然自失惛然自
惑蓋其說之精微其論之詳確不啻繭糸牛毛
自覺有心力不能以包括智力不能以剖拆乃
又目之以二字曰精微夫此二義萬緒千端各
不同其方浩大者務於外其極將至於無際精
微者務乎內其極將入乎無間故從事于此而
有手滑處不免於生疎褊小之病誠為難也今
有兩得而兼之乎可謂獲魚與熊掌矣然獲之

必有道非朝夕之所能致也既而依致知之術
求本末相依因果相應之故講究之久思惟之
熟有一旦以心會曰精微者本也因也浩大者
末也果也能盡其精微故能致其浩大矣獨怪
世之耳學開化而口唱文明之徒能摸其浩大
而遺其精微嗟亦莫非培根之不問而求結果
之大耶然盡其精微蓋亦有方非審諸思惟之
始而詳諸論辯之際則不能也凡學術之論公

會之議狀師之訴判官之斷苟不軌範於此將
幾乎作室於路傍亦何保基礎之固累架層構
無傾覆之患乎此書今刊而公于世聊欲以供
大匠利器之用固難與浮躁要速成者語也

明治七年六月

甘寐舍主人識

致知啟蒙第一卷

駿河

西

周 著

第一章 原學大旨

學テフ語ヲ言テ異テ説ナハ、大學ニ知ヲ致スト
ナム云ヘル是ソイト能適ヘル、此書ハ、歐羅巴ノ
ロシカ[拉] *logica* 佛 *logique* 英 *logic* 日 *logik* 蘭 *de
deveerfunde*]テフ學ヲ論ツラビテ、吾人ノ致知
ノ法ヲ示サムトテ、マツロジカテフヲ、支那ノ語
ニ翻シテ、致知學ト名ケツ、サルニ、致知ノ文字、大

學ノ面テニテハ、致知ハ格物ニ在リトイヒテ、此
 觀 [subjective view] ヨリ云ハルト、彼觀 [objective view]
 ヨリ云ハルトノ差ノニテ、別ニ致知ノ術トテ
 ハナク、物ニ格リヌレハ、即チ知ハ致リヌト、見エ
 タレハ、爰ニ説ク格物ノマヘニ、致知ノ術ヲ先ニ
 スルトハ、少シク事カハリヌレド、ソハ言ヲ斷チ
 用フルモ、カハラ、拘ハラヌコトニコソ、サテ致知
 學テフハ、此日本ノ國ニモ、支那ニモ、昔ヨリ、サル
 學ビノナキモ、カラ、人イト朝ミ思フヘケレド、
 學ビノ道ニ、心ヲ寄ナム者ハ、何ノ學ビニモ、アレ、

得モ缺マシキ、手解キ以テ、學ニテ、中ニモ、形而上ノ
 論ラセニツキテ、此學ビノナカリセハ、數ノ學ビ
 ナクシテ、格物ノ學ヲ事トスルカ、如クナルヘシ、
 此學ビ、歐羅巴ニテハ、イト舊クヨリ、傳ハリツル
 コトニテ、カノ希臘ノ昔シ、亞立斯度德テフ、名高
 博識ニ創マリテ、之ヲロシカノ父トナム云ヒヌ
 ル、サレド、其著ハセル書トモノ中ニハ、チアレクナッ
 ク [Socrates] トテ、其規則モ、オホカタニ見エ
 タリト云フ、亞立斯度德ハ、カレノ紀元ノマヘ、三
 百八十四年ノ人ナリシガ、此學ビ、世々ニ傳ハリ、

其徒弟ヨリ、ストイック [Stoic] テフ學派ノ輩ラニ傳
 ハリ、ソレヨリ、羅馬ニ傳ハリテ、又スコラスチク
 [Scholastic] テフ學派ノ輩ラニ傳ハリタリ、此スト
 イクノ時ヨリ、專テロジカテフ名ヲ唱ヘ、羅馬ノ
 西賽魯ノ頃ニハ、全クダレクテフハ、廢レニ
 ケリ、サテ、スコラスチクノ時其規則大イニ備ハ
 リテ、輒近ノ新哲學ノ諸名儒ニ傳ハリタリ、其間
 タニ種々ノ發明ヲ添ヘ、沿革ヲ受テタレド、大イ
 ナル變革ハ無カリキト見ユ、サテ此學トハ、如何
 ナル事ヲ目的トシ、如何ナル用トニ備ハツル者

ナリヤト云フニ、マツ、此學トニ名ケタル言ノ意
 ハ、希臘ノロコス [Logos] 語レゲイン [Neyezin] 語ス
 テワ言ヨリ、ロジカト云ヒ、又ダ [Sax] 共ニ、レゲイ
 ン [Neyezin] 語ステフ言ヨリ、ダレクテクト名ケタ
 ル者ニテ、初メナルハ、語ヲ使フテフ意後ナルハ、
 人ト話ステフ意ヨリ、物ノ理リテ、論ラフ意ニ、移
 リタリ、ソレ故ニ、舊クヨリ、ロジカテフ語ノ、定義
 トテ、論辨ノ術トソ、云ヒヌルコハ何ニモアレ、物
 ヲ論ラヒナムト、思フトキ、マツ理リノ至レルヤ、
 ハタ至ラサルヤヲ、試ムル為ニ、トアル題ヲ設ケ

テ、其理リニ、合^カヘルヤ否ヤヲ、探ラム為^ニ、術^テナリ
 トナリ、譬^ヘハ、數學ニテトアル數ノ、幾ツ重ナリ
 タルヤ、ハタ幾ツニ、分タレ得ルヤヲ、求メムニハ
 マツ書キ記セル符號ヲ設ケテ、之ヲ探ルカ如シ
 サルニ、此頃マテ、右ノ定義ニテ、傳ハリツルヲ、イ
 ト近キ英國ノ碩儒、合美拉頓氏、改メテ、思慮ノ法
 ノ學 [Logic is the science of the laws of thought] ナリ
 ト、定義ヲナム、定メツル。此定義モ、亦全ク合^カヘリ
 ト、謂ハレサリツレド、オホカタニハ從カハレタ
 リ、ソハ名ノ意コソ、サルコトナレ、物ノ理リヲ、辨

マフルニハ、語ニ表ハシ、文字ニ書キ連ヌルナト
 ハ抑、末ノコトニテ、思慮ヲ運フコソ、其本ナレ、サ
 レハ、思惟^シ考索^スノ理法^リナリテ、フニテ、概^カ略^カハ合^カヒ
 タレト、ナホ全クハ、盡サヌ節ノアナルヲ、ソハ極
 マテ細ヤカナル論ヒニ涉レハ、爰ニガ漏ラシツ
 サテ、カク定義ナト、又ハ、彼^レ此^レノ規則ノ論ヒナト
 ニ就テ、近キ世ニハ、イト詳カナルニ、至リヌレト、
 大率ハ、變リモナカリツルヲ、此頃ノ碩儒、カノレ
 ストムオフロシク [System of logic inductive and
 inductive] テフ、名立タル書ノ、著者ナル、約翰^ニ士^ニ低^ニ亞^ニ
 四

友口女家
 廿一
 廿一

多彌爾氏ニ至リテ、大ニ其面目ヲ新タニセリ、
 今マテハ、唯論ヒノ理リテ、試ムルマテノ術ニテ、
 言ハ、黄金ノ良否ヲ見ルニ、カノ試金石ヲ用フ
 ルカ如クナリシヲ、彌爾氏ハ、新タニアル理リテ、
 發明スルコトニ用ヒタリ、是ソ、近頃ノ致知學ノ
 新シキ發明ナル、今此書ハ、舊キ致知學ノ合率ノ
 諸法ノミヲ擧ケ、聊カ初學ヒノ楷榘トナシ、其詳
 カナルコトハ、悉ク本ツ書ニ譲リヌヘシ

第二章 文學關係

今トアル考ヘ、心ニ浮ヒタル隨ニ之ヲ人ニ傳

ヘナムト、欲セハ、手ニテ傳ヘムカ、ハタ足ニテ傳
 ヘムカ、コハ皆依ルヘキ便ナラ予ハ、必ス三寸ノ
 舌ヲ待ツコト、言ヲ待スシテ著カリ、是此學ヒノ
 名ニ言、又話ナトテフ意ヲ含メル語ヲ、負スルコ
 トノ由テ起レル所ニシテ、考ヘト、言トハ、イト親
 シキ族ラニテ、動モスレハ、紛レ易キナンメリ、サ
 テ、カク、此ニツノ者ノ、イト近ク、相睦ベル關係カ
 ラ、又學ヒノ序テモ、イト近ク、係ハレルコトアリ、
 ソハ、此致知學ニ、入りナムニ、言語文辭ノ學ナク
 シテハ、頗難キ業ニテ、猶足無ウシテ行キ、手無クシ

テ持ツニモ譬ヘツヘシ、サレハ、カレノ舊キ世々
 ヨリモ、此致知學ヲハ、文章科ノ、三ツノ學ヒノ、奥
 ノ學ヒトシテ、語科 [grammar] 文科 [rhetoric] 論科
 ナト立タリ、此ウチ、語科ハ、此方ノ、テニヲハノ調
 ハナドニ均シク、文科ハ、文書ク道ノ、イト高キ際
 ナリ、サテ、論科ハ、即チ致知學ニテ、文章科ノ、精シ
 キ極ミトナムナシツル、コハ、實ニモ、サル理リニ
 テ、カノ考ヘテフ者ヲ、律スルニモ、文字ノ便リナ
 ラテハ、ナベテノ考ヘテ、総フヘクモアラス、其ナ
 ヘテノ考ヘテ、総ル文字テフハ、即チ考ヘテ寫セ

ル唱フヘク、記ルスヘキ言ナルヲヤ、コハ、猶精シ
 クハ、奥ニ説キナム、サテ、カノル理リノアレハコ
 ソ、此日本ニテモ、支那國ニテモ、文章ノ學ヒニ、秀
 テツル儕ハ、縱致知學テフ學ヒコソナケレ、其心
 ノ趣ク所ハ、イカデ、サル塚ヲ踏マテ、アルヘキ、ソ
 ハ今、此學果シタラム後ニ、爰ノモ、支那ノモ、能モ
 ノセル文ドモヲ、見ヨ、頗此學ヒノ法ニ、違ヘル節
 ノ、多カラムカハ、ナベテ、論ヒニ涉レル語ハ、此則
 ヲ知ラス知ラスモ、自ラニ、踏ミツルヲ、サレト、今
 宗トシ言フ所ハ、カク睦ヒ保ハレル學ヒノ道ノ、

互ニ差ノアリテ、其界ノ、イト定カニ、切カニ、アナ
レハ、一團ニ、クルノ見ステ、詳ラカニ、界ノ塚ヲ、建
テ分クヘントナリ、是ソ前ニ云ヒレ定義ノ、イト
重キ所ナルカニ

第三章 學術分歧

致知學ノ中其半ハ、專ラ觀察上ニ涉リ、心カノ運
用ヲ宗トシ論ヒ、直チニ哲學[Philosophy]ノ一部
タル者ヲ、單純致知[pure logic]ト名ケ、其他シ半、
ハ右ノ運用ヲ、事ニ引キ充テ、論ヲス者ヲ、施用
致知[applied logic]ト名ケタリ、コハ、舊クヨリ

有ル差ヲニシアレト、唯此道ヲ、術トシ云ヒ傳
ヘタルヲ、英ノ碩學ホル多来氏ニ至リ分テ學術
ヲ兼タリト云ヘリ、故ニ前ナルハ、專ラ學ノ等輩
ニ齡ヒレテ、縦ヒ形而上ト、形而下ト、差ヲコソ
アレカノ地學、星學、格物學、史學ナトト、並フ同シ、
又後ナルハ、專ラ術ノカタニ就キテ、算術、幾何術、
言語ノ術ナトト、肩ヲ並フヘキナリ、是誠ニサル
コトニテ、事毎ニ、演題ニカケテ、當否ヲ斷ハルハ、
稀ナリトモ此學ニ依テ、形而上ニ涉ル理リヲ
斷ハルニ、自ラニ、カヲ得ルハ、其功ホシ、誠ニ解シ

トセス故ニ術ト云フヨリモ學トイフニ重ク涉
リタレ凡之ヲ以テ衆學ニ入ルノ手解キトナシ
テアラユル事ノ理リヲ考ヘ定ムルモノナレハ
術タルヲ免レ難シ是ナム此道ノ學ト術トニ涉
リタル差メナル

第四章 原由學域

合美拉頓氏ノ說ニ致知學ヲ思慮ノ法ノ學ナリ
ト云ビレ如クコハ吾人心ニテトアル物ヲ考ヘ
物ヲ辨マヘ又物ヲ定メテ然ナリト知ルテフ自
カラナル三ツノ運ビニ就テ其法ヲ立タル學ト

ニシテ性理ノ學 [Psychology or mental philo-

ソフィヤ]トモ自カラニ相連ナリタルハ云フモ更ナ
リ殆其中ノ一部トモ謂フヘク爰ヨリ其源ヲ分
ケ来リタルハ言ヲモ待サルヘシサレト之ヲ性
理學ニ較ヘテハ其境ノイト狭キモノカラ之ト
相界ヒスル所ヲ分ツテ要ノナリトスマツ一ツ
ニハ情テフ者ノ隣レト思ヒ惡シト思ヒ嬉シト
思フナトハ致知學ノ域ヲ外レタリ又次ニ意テ
フ者ノ言ハムト欲シ行カムト欲シカニカクニ
為サムト欲スル類ヒトハ又情ノ積リテ妬シ羨

マシナトノ類ヒモ、此域ヨリ外レタリサレト、此
 中ニテ、意ノ、カク思ハムト思フハカリハ、即チ意
 ノ考ヘテ、運フ作用ニテ、致知學ノ域ヒノ内ニハ
 アラサレト、假リ用フル者ニソアナル、故ニ致知
 學ハ、專ラ智ノ性ニ本ツキテ、情ト意トヲ、域ヒノ
 外ニ置キタリサルニ、又此智ノ性ノ内ニモ、致知
 學ノ疆ニヨリ、外レタル者アリ、是春ノ草ヲ見テ
 緑リナリト知リ、秋ノ楓ヲ見テ、紅トナリト知
 リ、雪ニ白シト知リ、月ニ清シト知リ、又聞テ知リ、
 嗅テ知リ、味ハヒテ知リ、覺ヘテ、痛シト知リ、冷

シト知ルノ類ヒハ之ヲ名ケテ、直覺、又無媒諦
 intuition 一ト名ケテ、皆此疆ヒヨリ、擯ケタリナヘ
 テ上ニ舉ケタル種々ノ心意ノ運用ハ、皆致知學
 ノ係ナル所ナラ子ハ、與リ論ラフ者ニ、アラサル
 ナリ、サテカク域ヒノ狭キモノカラ、其後ニ、遺リ
 タルハ、如何ナル所ソト云フニ、前ニ云ヒツル無
 媒諦ト、正ニ表裏トナリタル、有媒諦テフ者ニソ
 アナル、コハナホ第七章ニ説クヘシ
 第五章 念區概括
 横濱ノ童ヘ、犬ヲ見テ、犬ト知リ、長崎ノ童ヘ、鴉ヲ

我知啓蒙 卷一 七

見テ、鴉ト知ル。ハ、コハソモ如何ナル知リニカア
ラム、ソレヲ見テ、ソレト知リナハ無媒諦ニコソ
アナレ、サルヲ今横濱ノ童ヘニ、長崎ノ犬ヲ語り、
又長崎ノ童ヘニ、横濱ノ鴉ヲ語りテ、互ニ其犬
タルト、鴉タルトヲ知ラム。此長崎ノ犬ト、横濱ノ
鴉トハ、未タ見サル者ナルヲ、今ナドテヨク其吠
エムトスルト其鳴カムトスルトヲ、知ルヤ、コハ
其心ニ、既ニ、犬ト鴉トアレハナリ、此心ノ上ノ、犬
ト鴉トニ依テカノ未タ見サル、犬ト鴉トヲ知ル
之ヲ念Conceptionsト云フナリ、此念ヨリ得タル

者ノ、正サレク致知學ニテ、使用セタル域ノ内ナ
ル、サレト、此念テフ者、直チニ成ル者ニアラス直
覺ノ積リテ、念トナルハ、猶種々ノ度ヲ經テ、カノ
蒸氣ノ變リテ、水トナリ又變リテ、氷トナル如ク、
漸クニ聚リ又漸クニ凝テ、一ツノ塊リトナルニ
至ルヘシ譬ヘハ、初テ犬ヲ見テ、其犬タルヲ知ル
ハ、是直覺ナリ、又再ヒ他シ犬ヲ見ニ、同レク犬タ
ルヲ知リ、又三度見、四タヒ見、カクスルコト、度々重
レハ、犬ヲ見ストモ、犬ノ犬タルハ心ニ遺レルヲ
念ト名ケ、カクデ一ツノ念ノ、他シ千萬ツニ、通ヘ

致知啓蒙 卷一 十 廿

ルヲ概括カ。[power of generalization]トナム云
 フナル。是ノ致知學ニテ、イト重キ司サニ、勤メ勞
 ヲク者ナル、此概括カニヨリテ、萬ツノ犬ヲ、犬ト
 見、萬ツノ鴉ヲ鴉ト知リテ、今ツ、蒸氣^ユモ氷リト、結
 ヘル時ナレハ、所謂知^ルリノ始メニ、致知學ノ用ト
 ニナム備フベカルサルニ又、此念テフ者ハ、外形
 内質ノ備ハレル者ノ、我カ心ニ、寫リタル者ナリ
 一雖モ、其物ノ外形内質ヲ、悉ク盡シ知ルニハ非
 ス、唯其重ニ目立シキ標^シノ、若手ヲ知ルノ、譬ヘ
 ハ、神テフ念ハ吾人如何ニモ其外形内質ヲ、盡ス

ヘキ由アラ子ト、唯宇宙ノ主宰トシテ、萬有ノ元
 始タルヲ、知ル耳、又聖人、賢人ナト云フモ、其外形
 内質共ニ、人々ニテ、異^カリアレト、賢ハ、愚不肖ノ反^ツ
 体ニテ、聖ハ賢ニ勝レリテフヲ、知ル耳、ヨハ、度量
 觀。[quantity]ニ就テ、概念。[notion]トイヒ、又一種^ト直
 チニ直覺ヨリ来リ、重ニ其外形内質ニ係ハリ、其
 物ノ形^{カタ}面^{オモ}リニ、心ニ浮ヘル者ハ、形質觀。[quality]
 ニ係ハリテ、想念。[idea]トイフ、是即チ、後ニ云フ通
 フ名ト、專ラニスル名トノ差ノ、據テ起ル所ナリ、
 此想念ノ類ヒニ、想像カ。[imagination]ト云フアリ、

コハ性理學ニテ、イト重キ司サヲ勤メ、爰ニテモ、
 ナベテ形而上ノ事ノ論ラヒニハ、想像力ノ助ケ
 ヲ取ルコト、特ニ多シト雖、此想像力、動モスレ
 ハ、妄想 [fantasy] ニ陥リテ、方寸ノ龕中ニ、五百ノ羅
 漢ヲ安置スルコト多シ、恐ルヘシ

第六章 命名定義 [definitions]

ナベテ、吾人ノ、物ヲ知ルニ、之ヲ知リテ後、一ツノ
 念ヲ作ルニ至リテ、名テフ者ソ、出来^デノル、名テフ
 ハ、マツ聲ニテ、口ニ唱ヘ、次ニ手ニテ、記號ニ布ク
 者ニテ、其様コソ異^レ、ナヘテ、言^フトナムイフナル

故ニ名ハ、マツ念アリテ、後ニ生ル、者ナルヲ、人
 ノ世ノ、開ケニ開ケテハ、アルトアル物事ノ、備レ
 ル後ニ、生ル、モノカラ、名ヲ先ニ知リテ、物ヲ後
 ニ、知ルコトソ多カル、コハ、サリナカラ、後天 [a posteriori]
 [a posteriori] ノコトニテ、先天 [a priori] ヨリ、サルニハ
 アラジ、サテ、此名ニ、通ヘル名 [common name] ト、專
 ラニスル名 [proper name] トノ差メアルハ、世ニヨ
 ク知レタル、語ノ學ヒニ、詳カナレハ、更ニモ言ハ
 ス、其源トハ、上ニ云ヒシ概念ト、想念トニ、出タル
 ナリ、カクデ、物ノ名ヲ、文字トテ、トアル聲ノ記號

及口致蒙 卷一 七 十二

聖知啓蒙 卷一 廿四 廿五

若クハ其物ニ象リタル、画圖ヲ以テ記シタルヲ、
書セル言ト名ケ、此書セル言ハ、唱ヘタル言ニ本
ツキ、唱ヘタル言ハ、直覺ヨリ得タル念ニ本ツキ、
念ハ物ヲ知ルヨリ出ツ、サレハ、トアル物ヲ、書セ
ル記號ヲ以テ、人ニ示サムト、思フ時ハ、四ツノ媒
テヲ歴テ、始メテ能、其心ノ至キヌヘシ、コハ、猶遠
望鏡ノ物ニ向フ玉アリ、眼ニ當ル玉アリ、又中身
ニ種々玉アリテ、能、微カナル遠ケキ物ヲ、見分
ルカ如シ、致知學モ、右ノ四ツノ玉ヲ備ヘテ、始メ
テ、微カニ隱レタル理リヲ、能、見分キ、知リ合クヘ

キニナシ、サレト、眼鏡ノ玉、良カラサルハ、屢形
チノ真トテ、失ハシムル如ク、四ツノ媒チノ違ヒ
ヨリ、又理リノ真トテ、頭ハサヌコト、イト多カレ
ハ、定義ノ術ノイト重カル、サレハ、此四ツノ媒チ
ハ、各、其目サス所ノ物ト、一ツ意ナルヘシ、中ニモ
動モスレハ、其間タニ、違ヒノ出来易キハ、物ト念
ト、念ト言トニレテ、物ノ物タル所ヲ、念ニ包ミ得
サルト、又逆サマニ、言ノ意ヲ、念ニ酌ミ取り得サ
ルトナリ、故ニ、若、違ヒアリト知ラハ、物ヲ真トト
シテ、是ニ照シ合セ、其念ヲ直スヘキナリ、サレト、

致知啓蒙 卷一 十三

コハ正^サシキ形ノアル物 [concrete] ニシテコソ、サ
ルコトヲ得ヘケレ、正^サシキ形ナクシテ、其性質ノ
ミヲ、指シタル想像上ノ物 [abstract] ニハ、如何
カハセム、是ノ違ヒノ、イトモ多キモノカテ、イト
定カニ、切カニ、定ムヘキニテ、アナル、サレド、コハ
他^ニ術^ナシ、唯今ト昔シノ、正シキ文^ハ、タ勝レタ
ル著述家ノ、論セル者ナトヲ、考ヘ合セテ、言ノ意
ト、己カ念トス、正スヘキナリ、譬ヘハ、仁者愛之理、
心之徳ト朱子カ定義ヲナシタル如ク、度量觀ニ
テ、心ノ徳ト云ヒ、形質觀ニテ、愛ノ理ト、簡約ニ言

セ盡シ、六字内ニ、主意ト界限トヲ、示シタル如ク
ナルヘシ、サレト、コハ、定義ノ例ニ、舉ルノモテ、
仁ノ定義ノ當否ヲ、謂フニハ、アラス、又外國^ノ語
ハ、之ヲ翻ヘスコト、イト難シ、ソハ想像上ニ涉^リ
言ハ、多クハ、彼ト爰ト、念ノ上ニテ異ハリ、又正^シ
キ形ノアル者ニテハ、其形ヲニテ異ハリ、譬ヘ
ハ、仁テフ語ナト、爰ニ翻ヘサム語ナク、品テフ者
爰ノ金鍋トハ、異ナルカ如シ、學者能^ハ心セヨカシ
第七卷 鈎念引考
今マテ、上ニ述ツルハ、吾人ノ物ヲ知リテ、其物ノ

致知居業 卷一 十五

念ヲ作りサテ之ヲ言ニ陳ヘ記號ニ布ク運ヒノ
序デナリサルニカク種々ノ媒チヲ経テ記號ニ
布クニ至リタリトモ單ナル念ニテハ致知學ノ
用ニ供フヘキニアラス譬ヘハ夫ヲ夫ト題シ鴉
ヲ鴉ト題シタリトモ何ノ理リ人明カシトナル
ヘキカハコハ唯直覺ノ念トナリタルヲ言ニ題
シタルマテナリイテ聊カ前ニ云ヒサシタル有
媒諦ノコトニ立テ反リテ論ラヒタム前ニ第三
章ニ例シニトテ舉タル春ノ草秋ノ楓ノ如キハ
之ヲ念ヨリ取ル時ハ却テ致知學ノ題ニモ命ス

ヘキナリ譬ヘハ春ノ草ハ緑ナル者ナリ又秋ノ
楓ハ紅ナル者ナリナトノ如シサレドコハ無
媒諦ニ嫌ヒアリテ且イト知り易キ理ナレハ何
程ノ價直モアラス必ス上ナル言イト知レ難キ
理リアルヲ下ノ言ニテ説キ明シタル時ニ理リ
ノ證シトモナルヘキナリ譬ヘハ神ハ聰明正直
ナル者ナリ又郷愿ハ徳ノ賊ナリトカク神テフ
ハイト不可識ノ者ナレド隱微ノ所ハ得モ知り
能フマシ又舊惡ナトアリツラムニハ忘レモヤ
ラデ人ニ仇ナフ者ナルラシト疑ヒノアル間ニ

致知居業 卷一 十五

致知居業
卷一
七

聰明ト断ハリテ、隱微モ遺スコトナキヲ明シ、又
正直ト断ハリテ、過惡アリツレ氏改ムレハ、其咎
ノヲ、免ス者ナルヲ、明シ、又郷愿ハ、世ニモ譽レア
リテ、郷黨ニテモ、人皆信スル者ニテ、其行ヒノ有
徳ニ、紛ル、モノカラ、徳ノ賊ナリト、断ハル類ト
ニコソアナレ、カク上ノ念ト下ノ念ト、相待チテ
其間タニ、知ル所アルヲ、有媒諦。[mediate cognition
or inference]トハ云フナリコハ上ノ郷愿テス
言テ、知ルニテモナク、又下ノ徳ノ賊テフ言テ、知
ルニテモナク、唯郷愿ヲ、徳ノ賊ナリト、知ルコト

ニテ、此知ルテフハ、知リテ念ヲ作ルニハアラス、
作りタル念ヲ合セテ、上ノ念ト、下ノ念ト、相係ハ
ル。理リヲ、知ルコトニソアナル譬ヘハ、郷愿ノ郷
愿タルハ、誰ニモ、尋常ノ人ニモ、知レタルコトナ
リ、又、有徳ノ人ノ、妨ケトナル者ヲ、徳ノ賊テフモ、
誰ニモ、知レタルコトナリ、サレト、今郷愿ハ、イト
誠アリケニテ、誰ニモ、譽ノラル、者ナレハ、之ヲ
徳ノ賊ナリテフハ、世ノ常ニ辨ヘ難キコトナリ、
是ヲ以テ、萬章カ輩モ、尚ニツノ念ノ人相係ハル理
リヲ、曉リ得サル程ナリケレハ、之ヲ孟子ニ疑問

致知居業
卷一
十六

至矢居蒙 卷一 七

シケルニソ、サルヲ、孔子、其郷愿テフ者ノ内ニ、徳ノ賊トナルヘキ、理リノアルヲ、掲ケ出シテ、示シケルナレハ、郷愿ヲ知ルニ非ス、又徳ノ賊ヲ知ルニ非ス、唯此ニツノ者ノ相係ハル理リヲ、知ルニテ、郷愿ト、徳ノ賊ト、媒チニ因テ、知リタル理リナリ、カ、ルヲ、有媒諦トイヒ、又其考ヘテ、辨證ノ考ヘ[*deliberative thought*]ト名ケテ、致知學ノ已、カ分内トシ、宗トシ、司トル所ナリ、又カク一ツノ念ヨリ、一ツノ念ヲ鈎引シ、一ツノ念ヲ一ツノ念ニ、套挿スルヲ運用ヲ、考ヘ[*thought*]ト云ヒ、辨[*judgement*]ト

云ヒ、又性理學ニテ、意思[*will*]ト云ヒ、思慮[*know*]ト云ヒ、思量[*consideration*]思惟[*contemplation*]ト云ヒ、計較力[*comparison*]ト云フ、皆念ヨリ決ニ至ルノ、中間ノ運用ニシテ、其中、念[*conception*]考[*know*]ト云ヒ、決[*conclusion*]ノ三ツハ、致知學ノ三大運用トス、サルニ、約マル所、吾人、物ヲ知ルテ、フ本源ハ、モト同一理ニ外ナラス、コハ生性發蘊ニ説クヘシ

第八章 立極命題

サテ、命題[*proposition*]ノ法ハ、上ニ一ツニツ、舉

致知致蒙 卷一 十七 討論

致矢啓蒙 卷一 七

ケタル例レノ如ク、イハ、ロナリト命スルニテ、上ニ、物ノ名一ツ、下ニ物ノ名一ツナリ、此物ノ名ハ、前ニ云ヘル念ヲ、寫シタル名ニテ、此學ヒニテハ、名ト謂ハス、又言ト謂ハス、之ヲ極「*extremum*」ト謂フナリ、ソハ、語學ニテハ、言ニ種々ノ別チアレト、爰ニテハ、引キ概ノテ極ト云ヒ、唯一ツニ纏メタル、念ノ標シト、見ルナリ、譬ヘハ、只犬トノ、イヒテモ、一ツノ念ナリ、又白犬トイヒテモ、アルハ吾家ノ犬トイヒテモ、皆一ツノ念ノ識シト見、語學ニテ、形質言、指示言ナト、分チタルモ、又他レ書キ廻シ

ヲモ、皆概ノテ極ト謂フナリ、此極、上ノイ、文字ノ位ヲ主位「*subject*」ト名ケ、題ノ重大ル念トシ、下ノ口、文字ノ位ヲ属位「*predicate*」ト名ケ、主位ニ属セル念ナリトス、サテ、下ノナリテフ言ヲ、定言「*proposition*」トナム云フ、コハ、我カカクナリトカ、カクニアラストカ、断リタルヲ、示ス者ナリナリハ、語學ニテ、ニアリノ約ノニアリハニテアリノ約ノナレハ、肯定「*affirmative*」ニテ、イハ、ロニテアルゾト定ムル言、且時モ第二ノ現在ニテ、物ノ續キタルヲ示シ、ナヘテ道理ヲ説クニ、イト當レリ、又否

致知致蒙 卷一 六

致矢啓蒙 卷一 七

定。[negative]ニテハ、ニアラサルナリト書クヘシ、
イハロナラサルナリニテハ、ナリナルナレニ嫌
ハシケレハ、初ノニ、音便ニテ、約マリタルヲ、ニア
ラズト別ツヘキナリ、否定ノ下ノナリハ、是亦定
言ナレハナリ、又主位ノ下ノハ、文字ハ、他ノ國ノ
言ニハ、カ、ルテニヲハナケレド、我國ノ言語ニ
テ、正例ニテハ、之ヲ用フルヲ、當レリトスノハ、區
別ノ助語トテ、彼ハ斯々ナリトモ、此ハ然ナリト、
定ムル心ニテ、イトカラアリ、正例ニテハ、他ニテ
ニアハス、通ハシ用フヘキニアラス

第九章 主属彙類

第六章ノ終リニ、言ノ定義ノコトヲ、説キツ、今ハ、
主位ト属位トヲ別チテ、其致知學ニ係ル法ヲ、
詳カニ論ラヒナム、其一ツ、形質觀ニ本ツク者ヲ、
鈎引[deductions]ノ運用ト云フ、此運用ニテハ、主
位ノ言正シキ形アル物ノ名ナルヘシ、正シキ形
アル物トハ、其實體ヲ一ツ舉テ、是ニ附キタル形
狀、性質、功用ナト、ナヘテ、何ニマレ、ソレニ附キタ
ル者ハ、悉ク其中ニ含ミタリト考フヘキ言ニテ、
譬ヘハ、月トイハ、圓カナリテモ、明カナリテ

致口致蒙 卷一 十九

フモ、又清シテフモ、其中ニ含メリト考へ、又風ト
 イハ、吹クテフモ、涼シ寒シテフモ、其中ニ籠レ
 リト、考フルカ如シ、カク月トカ風トカ、名サシ舉
 ケテ極トスル物ヲ、實體 [substances] ト云ヒ、何ニ
 マレ、其實體ニ附キタリト、考フル者ヲ、属性 [attribu-
 tes] ト云フ、此考ヘヨリ、命題ノ一法ヲ得、主位正
 シキ形ノアル實體ナレハ、其中ヨリ、一種ノ属性
 ヲ釣引シテ、之ヲ掲ケ示スナリ、譬へハ、月ハ清キ
 者ナリ、君子ハ義ニ喩ル者ナリ、カトノ如シ、又其
 一ツ、度量觀ニ本ソク者ヲ、套挿 [inductions] ノ運用

ト名ク、此法ヲ運用スルニハ、尚預メ知ルヘキコ
 トアリ、之ヲ彙類 [classification] ノ法ト云フ、此
 彙類ノ法ヲ運用スルニ、共ニ知ルヘキニ、通りノ
 運用法アリ、其一ツヲ、分解法 [analysis] ト名ク、
 他シ一ツヲ、總合法 [synthesis] ト名ク、ナヘテ、何
 ニマレトアル考ヘテ得ル時、直チニ、之ヲ用フヘ
 キニアラス、マツ、此ニ、通りノ運ヒニ、カケテ、アル
 ハ、合セ見、アルハ、分チ見テ、其念ノ、他シ念ト、相係
 ハル理リヲ、求ムヘシ、譬へハ、草トイハ、木ト分
 チ考へ、人トイハ、獸ト分チ考へ、又人ト獸トヲ

合セテ、動物ト考ヘ、草ト木トテ、合セテ、植物ト考
 フルカ如ク、分解法ハ、細ヤカナルヲ、尚細ヤカニ
 シ、綜合法ハ、大イナルニ、尚大イナルヲ加ヘ、カラ
 ノ及ヒナム限リヲ、盡スヘシ、抑、此ニツノ心ノ運
 ヒハ、此學ヒニモ、限ラス、ナヘテノ學ヒノ道、又然
 ノミナラス、日々用フル、人ノ世ノ事ニモ、イト切
 ナルコトニテ、聖賢中下ノ人ト、分ル、モ、師ト称
 ヘ、弟子ト云フモ、皆此カノ強サト、至ルト、至ラサ
 ルトニ、係ハルナリ、ソハ其據ヲ、彼觀ニ係クト
 ハ、イヘト、又此致知學ノ此觀ノ助ケヲ、辱ナシヒ

ムコト、鮮ナカラサルヘシ、サテ、右ノ二、通りノ運
 ヒヲ以テ、彙類ノ法ニカケテ、如何カ手ヲ下シ
 ナム、彙類ノ法ニ、上行 [*superordinate*] 下行 [*sub-*
ordinate] 同行 [*co-ordinate*] ノ三位アリテ、分解総合
 ノ二法ニ因テ、之ヲ考フルナリ、コヲ數ニ譬ヘハ、
 一ツヲ十、合セタルヲ、十ト云ヒ、十ヲ十總タルヲ
 百ト云ヒ、百ヲ十總タルヲ千ト云フ、カク考フル
 ハ、歴上ル綜合法ナリ、又之ヲ逆マニナシテ、千ヲ
 十ニ分レハ、百トナリ、百ヲ十ニ分レハ、十、十ヲ十
 ニ分レハ、一ツトナル、是歴下ル分解法ナリ、カ、

ル考へハ、アルトアル天、地ノ間タノ、物ニ當リテ、
虚體ニモアレ、實物ニモアレ、人ノ心ノ考へニ、ハ
マル程ノ事ハ、何カハ、此域ヒヲ遠ルヘキ、今試ニ
免テフ念ヲ、此考へノ、本トナシナハ、免ハ獸ノ一
ツテフ考へ出来ノリ、此考へヨリ、外ニ推シタラ
ハ、鹿、猪、猿、狼、狐、狸、貉、猫、鼠ナト、俄カニ算ヘ盡スヘ
クモアラサル、數多ク念出来タリ、サテ、之ヲ総テ、
一段歴上リタレム、唯^{トキ}一ノ^ク獸ヲ念トナシタルナ
リ、今此獸ヨリ、外ニ推シテ、其類セヨ克テハ、魚ノ
類、鳥ノ類、蛇、龜ノ類、ハタ人ヲモ加ヘナシ、動物テ

フ念ノ出来ノリ、サテ、動物ハ、植物ト相並ヒテ、機
性體トナリ、機性體ハ、無機性體ト並ヒテ、同シク
天造物トナルカ如シ、コモ亦歴下リテ、考ヘタラ
ハ、分解法ナルコト、言ヲ待ス、サテ、カク歴上リ、歴
下リ総合分解ヲ試ミタル上ニテ、如何ニト云フ
ニ、必ス三通リノ差ヲ得ヘシ、ソハ上行、下行、同
行ナリ、譬ヘハ、獸ハ鳥トハ、同行ナリ、鳥ヨリ動物
ハ上行ニテ、鳥ヨリ鶴ハ下行ナリ、又是ニ擬ラヘ
テ、再重上行、三重上行、又是ト相反ナルモアリ、サ
レト、此中ニテ要ナルハ、上行ト下行ニテ、舊ク

致知啓蒙 卷一 廿三

ヨリ、上行ヲ類 [genus. pl. genera] ト云ヒ、下行ヲ種
[King & pl. species] ト云ヒテ、差メヲナムナシツル、
カク考ヘノ、ハキト極^キリタルヲ、彙類ノ法ト名ケ、
カクテコソ、此學ヒノ上、ニテ、取^リアツカフヘケレ

第十章 歷上套挿

上ニ謂ヒシ、彙類ノ法ニ就テ、尚心ツクヘキコト
アリ、ソハ、歷下リテハ、實體ノ念、愈増シ、屬性ノ念
愈減^キリテ定^キリ、又歷上リテハ、實體ノ念、愈減^キリテ
定^キリ、屬性ノ念、愈増シテ廣クナルナリ、此考ヘヨ
リ、套挿ノ法ヲ得、主位ノ言^ハ、種名ニテ、下行ナル

ヘク、屬位ノ言ハ、類名ニテ、上行ナルハ、譬^ハハ
牛ハ獸ナリ、獸ハ動物ナリト言フヘクシテ、獸ハ
牛ナリ、動物ハ獸ナリトハ、言フヘカラサルカ如
シ、又カク類名ノ主位ヲ、種名ノ屬位ニ、套挿スヘ
カラサル耳ナラス、同行ニテハ、少シモ、屬位ニ取
ルヘキ理リナシトス、譬^ハハ、魚ハ鳥ナリ又梅ハ
櫻ナリトハ、絶^ニテ考フヘカラサルカ如シ、是此學
ヒノ、本^ニ合ナル法ニテ、辨證ノ考ヘニ、用フル所多
クソカシ、サレハ、前ニ舉^テタル、主位ヨリ、屬性ヲ鉤
引シテ、屬位トナスヲ、鉤引ノ運用、又演繹 [deduce]

致知啓蒙 卷一 廿三

「ion」ノ法ト名ケ、爰ノ下行ノ主位ヲ、上行ノ属位ニ套挿シテ、属位トナスヲ、套挿ノ運用、又歸納「auction」ノ法トナシ謂フナル、譬ヘハ、「牛ハ獸ナリテフヲ、演繹ノ法ニテハ、牛ノ中ヨリ、脚、四ツアリ、體タニ毛アリ、頭ヲニ角アリ、道理ヲ知ル性ハナシ、ナトノ、種々ノ考ヘ、人ニ似タリテフヨリ、モ、能、馬ニ似タレハ、馬ト同シク、獸ノ性ヲ備ヘ、リト見テ、牛ハ獸ナリト斷リ、又歸納ノ法ニテハ、牛ハ上ニ云ヘル性ヲ備ヘ、馬、羊、狼、犬ナトニ、似タレト、燕、雀ナトニモ、鯉、鯽ナトニモ、似ス、サレハ、其

到矣 啓蒙 卷一 七

總稱ハ、獸ナリト斷ル類ヒナリ、アルハ、之ヲ彼ニ勝レリト、謂フ説アレト、彼ハ、主位ノ属質ヲ、属位ニ引キ下シ、此ハ、其属質ノ相似タルニ因テ、下行ヨリ、上行ヘ引キ舉ル者ニテ、何レモ、題ニ命シタル所ニテハ、異ナルコトナク、必ス、上ヨリハ下リ、下ヨリハ上リテ、ニツノ運ヒ、相待ツ者ナリ

第十一章 外延内包

上ニ云ヒレ命題ノ法ニ、尚心得テ、在ルヘキコトアリ、ソハ、上行ノ類名ヲ、主位トナシ、下行ノ種名

及中 卷一 二十四 廿 採 舎

ヲ、属位トナスハ、絶^エテ無シトモ、謂ヒ難シ、譬ヘハ、
 多クノ木ハ、松ナリ^レ或^レ人ハ、東人ナリ^レ徳ノ大イナ
 ル者ハ、仁ナリ^レ仁ヲスルノ木ハ、孝弟ナリ^レナトノ
 如ク、コハ此例ニテ、言ヲ待^スシテ、知ルヘキ如ク、
 度量觀ト、形質觀トニ依テ、其標シヲ加ヘタリ、カ
 、ル所ニテハ、形質ノ標シモ、度量觀ト交リテ、其
 全^サヨリ、減リタル者ナレハ、カク受クルコトノ、
 得ラル、ナリ、度量觀ニテ、主位モ、属位モ、正^サシク、
 同シ量リトナレハ、其位并^テ換ルモ、同シコトナ
 リ、譬ヘハ、前ノ例ニテ、仁ハ徳ノ大ナル者ナリ^レ孝

弟^ハ仁ヲ為ルノ本ナリ^レテ、同シ^レトナルカ
 如シ、是正^サ上^ニノ正例ト、異ナル所ナリ、又譬ヘハ、
 獸ハ牛ナリ^レト、絶^エテ謂^フヘカラスト雖^モ或^レ獸ハ
 牛ナリ^レト言^フヘハ、牛ハ、獸中ノ一ナリテ、同ウ
 シテ、度量相同シケレハ、聴^クルカ如シ、故ニカ、
 ル命題ニハ、量リノ標シヲ加フルヲ、必ストス、能
 々心スヘシ、サテ、度量觀ト、形質觀トニ就テ、尚心
 得ヘキコトアリ、ソハ、トアル言ヲ、實體ノ名トシ
 テ、見^レハ、度量觀ニ移リテ、之ヲ言^フノ外延^ノ、
 〔*non*〕ト名ケ、又其属性ニ就テ、見^レハ、形質觀ニ

移リテ之ヲ言ノ内包。[Comprehension]ト名ク、譬
ヘハ、人テフ言ヲナヘテ日本人、支那人、天竺人、西
洋人ナト、アルトアル五洲ノ人ヲ、徴セリトレテ、
見レハ、外延ナリ、又仁智ノ性ヲ備ヘ、道理ニ依テ、
動ク者ナリト、見レハ、内包ナリ、又又物テフ言ヲ、
長カモ、太カモ、カモ、小カモ、庖丁モト、見レハ、外延
ナリ、唯物ヲ切ル者ナリト、見レハ、内包ナリ、此ニ
ツノ考ヘノ中ニテ、外延ノ考ヘハ、即チ度量觀ニ
テ、重ク命題ノ上ニ、係ハルコトナリ、サレハ、此外
延ノ考ヘヲ、分チテ三ツトナシ、各其標シヲ加ヘ

テ之ヲ辨フ、トシ是一ツニカ、單稱ナリ、我國ノ言、
ニテハ、一ツ言ヲ變ヘテ、單稱ト、複稱トヲ、分ツ例
シナケレハ、言一ツニテ、物一ツヲ、示サムト欲セ
ハ、必ス下ニ、一ツテフ言、又上ニ、指斥言ノ、此テフ
言ヲ加フヘシ、然為サレハ、全稱ニ紛ル、ナリ、譬
ヘハ、星見^ス、星一ツ見^ユナトノ如シ、又イト定カ
ニ、言ハサル時ハ、或テフ言ヲ冠ラスセ可ナリ、二
ツニハ、複稱ナリ、ナヘテニツヨリ、上ツカタヲ示
ス時ナリ、コハ其量リヲ、大方ニ謂フ時ハ、亦或テ
フ言ヲ蒙ラスヘシ、又二ツニ分チ、僅カナル多ク

後知故蒙 卷一 二十六 甘霖

ノヲトテフ言ニテ、具外延ヲ定ムヘシ、譬へハ、多
 ク。人、僅加ナル水、ナトノ如シ、三ツニハ、全称ナ
 リ、コハ、ナヘテヲ舉ル称ニテ、言一ツ用ヒテ、譬へ
 ハ、山ハ高キ者ナリ、鳥ハ飛フ者ナリ、ナト言テ、知
 ラル、ナリ、サルニ、是ヲハ、多チテニ、種トナレ、前
 ノ如キヲ、泛称 [*indefinitive*] ト云ヒ、アラユル悉ク
 テフ意口ニ見ルヲ、分称 [*distributive*] ト謂フ、然
 此是ハ、約マレ所、同シヨトニテ、此學ヒニテハ、サ
 マテ拘ハルニ及ハス、唯命題ニテハ、明クニ、全称
 [*universal*] ト特称 [*particular*] トヲ示スカ為

ニ、全称ニ、凡テヲ用ヒ、特称ニ、或ヲ用ヒ、否定ノ
 全称ニハ、下ニ何レモヲ用フルコトニ定メツ、サ
 レトナヘテ、スヘテ、皆悉ク、各ナト、拘ハルトニア
 ラス、唯度量如何ト見ルヘキ耳、又度量ノ称ナク
 トモ、演題 [*apophysis*] ニテハ、断言 [*conclusions*] ナ
 極ハ、常ニ此テフ意口ニテ、老約ハ、ナヘテテフ意
 ロナルヘシ、ナヘテ、外延ノ考へハ、全称ニ、涉ルコ
 ト多ク、又内包ノ考へハ、特称ヲ用フルコト、常ナ
 リ、譬へハ、凡テノ生物ハ、機性體ナリテフハ、外延
 ノ考へニテ、或、生物ハ、鳥ナリテフハ、内包ノ考へ

ナルカ如シ

第十二章 同異表決

一ツ言ニ、外延ト、内包トノ、考ヘアルハ、即チ度量
 觀ト、形質觀トニテ、今、前章ニ、援ツル例シノ如ク、
 形質ノ言モ、度量ト見、度量ノ言モ、形質ト見ルコ
 トアリ、カク互ニ相交ヘテ、ニ通ノ命題ノ法ニ
 ヨリ、言ノ内包ニ依テ、主位ヨリ、屬質ヲ鉤引シ、又
 彙類ノ法ニテ、外延ヲ究ノタラハ、自ツカラノ隨
 主位ヨリ屬位ヲ得ヘシ、是ソ誠ニ、致知ノ上ニ、源
 トシテ、百事ノ辨證ニ備フヘキ術ナルナルニ、尚

一ツ、漏ル、コトノアルハ、ソハ、カノ定言ノ事
 ナリ、是ニ三大運用ノ、最後ノ一ツニテ、之ヲ決。*[Sons
 Section]*ト名ケ、イト重キ者ナリトス、ナヘテ、吾人
 天地ノ間タノ、アルトアル物、其一體*[individual]*
 ノ見ユル所ニ就テ、之ヲ言ヘハ、此犬ハ此犬、此雞
 ハ此雞ニテ、此犬ハ能ク吠ユル者ナリ、此雞ハ能ク飛
 フ者ナリト言ヘハ、佗レ犬、佗レ雞ニ、通ハスヘキ
 ニアラス、之ヲ真一*[Univision]*又自己明證*[Self-evident]*
 道ト謂ヒ、致知ノ學ヒニ、供フヘキニアラサレド、
 退テ之ヲ考ヘ、概括カニ依テ、得タル念ニテハ、此

犬モ、彼、犬モ、其犬タルハ、同シク、吾、兄モ、汝カ兄モ、其兄タルハ、同シトス、譬ヘハ真一ニテハ、此イハ
 イナリ、此イハ彼イニ非ルナリト云ヒ、致知ノ本
 疆ニテハ、イハロナリ、イハハニ非ルナリト謂フ
 カ如シ、今ハ此本疆ノ内ニテ、其同異ヲ求ムルヲ
 謂フナリ、譬ヘハ、前ノ題ニテ言ハ、牛ハ獸ナリ
 テフハ、牛テフ念ト、獸ノ一類テフ念トハ、形質ヨ
 リ觀テモ、度量ヨリ觀テモ、同一ナリト見、又相表
 裏ニテ「牛ハ啖肉族ニ非ルナリ」テフハ、牛テフ念
 ト、啖肉族テフ念トハ、如何ニシテモ、同一ナラス

ト見ルナリ之ヲ同「[identity]」不同「[non-identity]」
 ノ辨ト云フハ、イハロト同一ナル者ニテアリ又
 イハハト不同一ノ者ニテアリト定ムルコトニ
 テ、又可考不可考「[consistence and non-consistence]」
 8ノ決トモ、謂フナリ、サテ上ニ種々舉タル法ニ
 從ヒ、心ヲ運ヒタルハ、皆意テフ者ヲ假リテ、アル
 ハ、カニ為ムト欲シ、アルハ、カク為ムト欲シテ、已
 カ心ヲ以テ、已、心ヲ運ヒツレト、今トアル主位ノ
 極ヨリ、其屬質ヲ、鉤引シテ、之ヲ彙類ノ法ニカケ
 テ、上行ヘ上レ、下行ヘ下レシタル際、ニ臨ミテ同一

ナリトカ、不同一ナリトカ、又カクハ、考フヘシト
 カ、シカハ、考フヘカラストカ、ニツニ分チタルヲ、
 言ニ顯ハシテ、肯定ニテナリ、否定ニテニ非ルナ
 リト、斷ハルナリ、此運用ヲナム、決ト云ヒ、又言ニ
 表ハシタルヲ、定説 [assertion] ト云ヒ、其言ヲ定言
 ト謂フナル、サルニ、此際ニ臨ミテ、自ラニ、ニツニ、
 分ル、ハ、己カ意ノ、能命セ使フ所ニアラテ、吾ナ
 カラ、吾心ニ任セヤラテ、吾知ラスニ、出ツル者ヲ
 理性 [reason] トナム云フナリ、此理性コソ、天ノ吾
 人ニ、與ヘタル靈智 [intellect] ノ性ニシテ、自ラ昧

マシ、自ラ欺クコトヲ、得サル者ニテ、人ノ世ニ、イ
 トモ重キ司サテ、勤ムル者ナレ、ソハ生性發蘊ニ、
 宗トシ論ヲ所ニシテ爰ニハ言ハス、サテ、理性
 ノシカニテアリ、又シカニハ非スト、極ムルヲ、此
 學ニニテ、莫逆嘉納 [non contradiction] ノ法ト
 云フ、言フ心ハ、アリト定ムルモ、アラズ定ムルモ、
 カノ理性ノ隨ニシテ、必シモ礙ホル所ナキナリ
 此法ヤ、唯一ツ、然シテ、之ヲ開イテ三ツノ單元 [axioms]
 立ツ、一ツニハ、肯定ノ定説ハ同一ユリ
 ト定ム、屬位、主位ト、同一ナリト定メサレハ肯定

至矣 启蒙

卷一

七

解

卷一

致知 启蒙 第一卷 終

致知 启蒙 第一卷 終

